**職務経歴書**

2025年4月1日現在

佐藤 真由美

**■職務要約**

　大学卒業後、調剤薬局にて約4年間勤務し、外来処方に基づく調剤や服薬指導を経験しました。その後、総合病院に転職し、病棟薬剤業務や医師・看護師との多職種連携、副作用モニタリングに携わり、臨床の現場で薬剤師としての専門性を高めてきました。これまでの薬局で培った説明力と、病院で学んだ臨床経験を活かし、患者様の安全な薬物療法に貢献してまいります。

**■職務経歴**

〇〇薬局株式会社（2016年4月～2020年3月）

|  |
| --- |
| 【勤務先種別】調剤薬局【処方箋枚数】1日平均90枚（内科・小児科中心）【薬剤師数】常勤3名、事務2名【雇用形態】正社員 |
| 期間 | 職務内容 |
| 2016年4月～2020年3月 | 【担当業務】・処方箋に基づく調剤業務・服薬指導および薬歴管理・残薬確認とジェネリック医薬品の情報提供・新人薬剤師・実習生のOJT指導【心がけたこと】高齢患者に対しては専門用語を避け、生活に合わせた説明を工夫しました。残薬が多い患者にはカレンダーや一包化を提案し、服薬継続をサポートしました。【学んだこと】服薬指導の際には、薬の知識だけでなく「伝え方」「傾聴力」が治療継続に直結することを学びました。 |

△△総合病院（2020年4月～現在）

|  |
| --- |
| 【勤務先種別】総合病院（300床規模）【診療科】内科・整形外科を中心に担当【雇用形態】正社員 |
| 期間 | 職務内容 |
| 2020年4月～現在 | 【担当業務】・病棟薬剤業務（持参薬確認、副作用モニタリング）・医師への処方提案、投与設計サポート・入院患者への服薬指導・多職種カンファレンスへの参加・新人薬剤師・研修生の指導【心がけたこと】医師や看護師との連携を密に取り、患者の状態を共有することで、安全な薬物療法につなげることを意識しました。【学んだこと】外来では得られなかった「治療経過を通じて患者を支える視点」を学びました。特に副作用の早期発見や処方提案など、病院薬剤師の役割の大きさを実感しました。 |

**■活かせる資格・スキル**

・薬剤師免許（2016年4月取得）
・調剤薬局での服薬指導・残薬管理の経験
・病院での病棟薬剤業務、副作用モニタリングの経験
・医師・看護師との多職種連携スキル
・新人薬剤師・研修生のOJT指導経験

**■自己PR**

　私の強みは、患者に伝わる説明力です。薬局勤務では生活背景をふまえた工夫を取り入れ、残薬の多い患者にカレンダーや一包化を提案し、服薬継続率の改善につなげました。病院では入院患者への服薬指導や副作用確認を担当し、医師や看護師との連携を通じて治療の安全性を高める経験を積みました。今後は、これまでの説明力と臨床での経験を活かし、患者様の安心と安全を第一にした薬物療法に貢献したいと考えています。